

高知県感染症発生動向調査（週報）

2014年 第49週（12月1日～12月7日）

★お知らせ

○インフルエンザに注意して！

定点医療機関からの報告数は先週の 0.10 から 0.25 と増加しています。迅速診断結果は、幡多、須崎、中央西福祉保健所管内で全てインフルエンザウイルス A 型、高知市保健所管内ではインフルエンザウイルス A 型、B 型が検出されています。報告は少ないですがこれから流行の時期になります。予防方法としては、手洗い、うがい、咳エチケット、予防接種などがあります。予防接種は免疫をつけ個人の発病及びその重症化を防ぐことを目的に接種しますが、効果が期待できるのは、接種した 2 週間から 5 カ月程度までと考えられています。かかりつけ医と相談し早めに受けるようにしましょう。

○手足口病に注意して！

例年の流行時期は過ぎていますが、定点医療機関からの報告数は先週の 1.87 から 2.77 と増加し、注意報値を超えています。特に、高知市保健所管内では 5.27 と警報値を超えています。外から帰った後、食事の前、トイレの後に手洗いを行い予防しましょう。また、回復後に 2 ～4 週間の長期にわたり便からウイルスが検出されることがあるので、幼稚園、保育園、学校など集団生活ではタオル・コップ等を共用することは避けましょう。

○感染性胃腸炎に注意して！

定点医療機関からの報告数は先週の 3.40 から 3.57 とほぼ横ばいです。この病気は、冬場に流行する代表的な感染症で、特に、ノロウイルスを原因とする場合、嘔吐・下痢・腹痛・発熱等の症状を引き起こします。ほとんどの方は軽症で回復しますが、子どもやお年寄り等は重症化したり、吐物を誤って気道に詰まらせて死亡する事があります。感染力は大変強く社会福祉施設や学校等集団生活の場で大規模な流行となることもあります。予防で最も大切なのは手を洗うことです。特に排便後、調理や食事の前には流水で十分に手を洗いましょう。

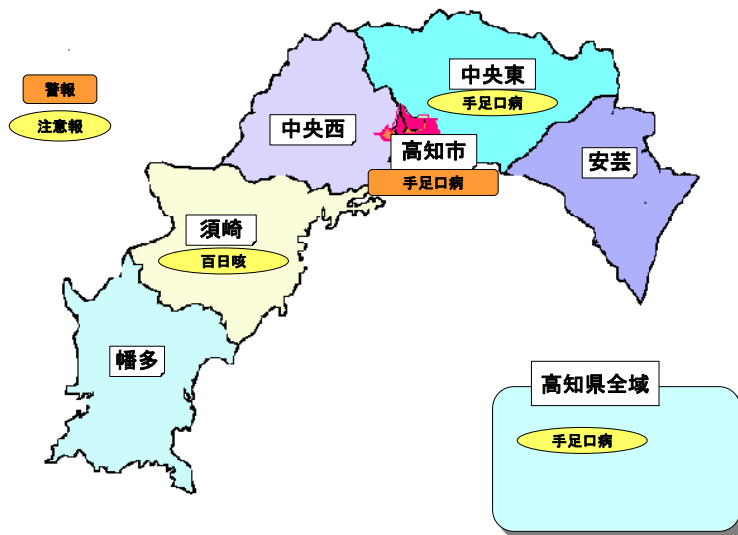
★県内での感染症発生状況

定点把握感染症（上位疾患）

↑：急増 ↗：増加 →：横ばい ↘：減少 ↓：急減

疾病名	推移	定点当たり報告数	県内の傾向
感染性胃腸炎	→	3. 5 7	中央東、安芸で増加しています。
手足口病	↗	2. 7 7	高知、中央東、幡多、中央西で増加し、高知市で警報値を、県全域及び中央東では注意報値を超えています。
RS ウイルス感染症	→	2. 0 0	高知市、中央西、中央東で増加しています。
A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎	→	1. 5 7	高知市、中央西、中央東で増加しています。
水痘	↓	0. 7 0	安芸、中央西で増加していますが、全体では減少しています。

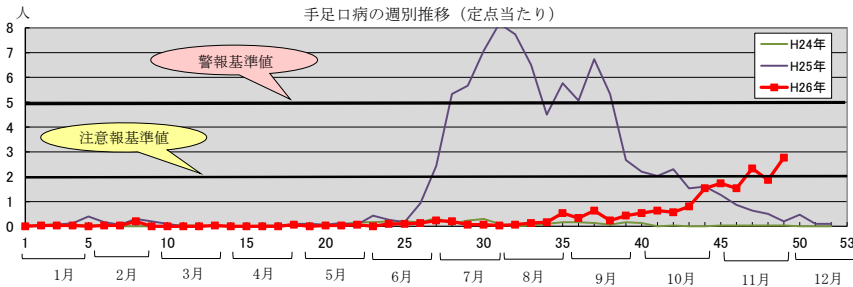
★地域別感染症発生状況



★気をつけて！

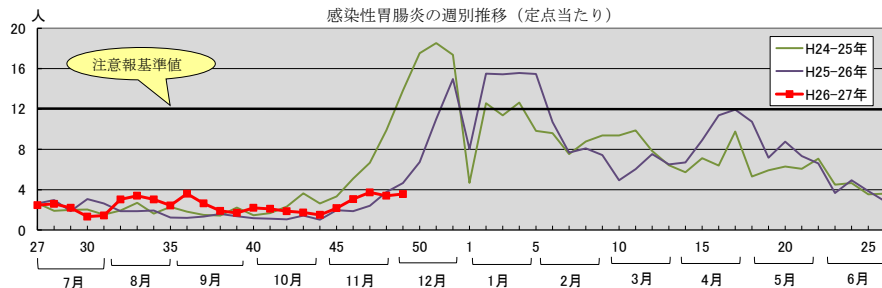
○手足口病：2.77（注意報値：2.00 警報値：5.00）

定点医療機関からの報告数は定点当たり 2.77（前週：1.87）と増加し注意報値を超えています。地域別にみると、高知市（5.27：前週 3.00）中央東（2.86：前週 2.14）幡多（0.40：前週 0.20）中央西（0.33：前週 0.00）で増加し、高知市では警報値を、中央東では注意報値を超えています。年齢別にみると、患者の約 94% が 5 歳以下になっています。病原体定点からは CocksackievirusA16 が 4 例検出されています。



○感染性胃腸炎：3.57（注意報値：12.00 警報値：20.00）

定点医療機関からの報告数は定点当たり 3.57（前週：3.40）とほぼ横ばいです。地域別にみると、中央東（7.00：前週 4.43）安芸（2.50：前週 1.50）で増加しています。



★全数把握感染症

類型	疾病名	件数	累計	内 容	保健所
2 類	結 核	2	126	30 歳代 (男)	高知市
				60 歳代 (男)	幡 多
5 類	侵襲製肺炎球菌感染症	1	3	60 歳代 (男)	高知市

★病原体検出情報

受付週	臨床診断名	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
49	手足口病	1	女	須崎	Cocksackievirus A16 Adenovirus 1
49	急性咽頭炎	1	女	高知市	Adenovirus 6
49	手足口病	1	女	高知市	Cocksackievirus A16
49	手足口病	10	男	須崎	Cocksackievirus A16
49	手足口病	3	男	須崎	Cocksackievirus A16
49	肺炎	—	男	高知市	Rhinovirus
49	不明発疹症	3	男	須崎	Rhinovirus
49	不明発疹症	13	女	須崎	Rhinovirus
49	百日咳	5	男	須崎	<i>Bordetella pertussis</i>
49	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	9	男	須崎	<i>Streptococcus pyogenes T12</i>

前週以前に検出

受付週	臨床診断名	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
44	不明発疹症	2	男	中央西	Human herpes virus 6
44	不明発疹症	9	男	須崎	Human herpes virus 7
44	不明発疹症	2	男	須崎	Rhinovirus
44	感染性胃腸炎	10	女	幡多	Rhinovirus
45	手足口病	1	男	中央東	Cytomegalovirus
46	伝染性単核球症	14	女	須崎	Epstein-Barr virus
46	不明発疹症	1	女	須崎	Human herpes virus 6
47	不明熱	10ヶ月	男	須崎	Epstein-Barr virus
47	急性細気管支炎 急性中耳炎	1	女	高知市	Human herpes virus 6
48	感染性胃腸炎	8ヶ月	男	中央東	Parechovirus 1
48	下気道炎	6ヶ月	女	高知市	Rhinovirus
48	急性肺炎	1	男	中央東	Rhinovirus

★定点医療機関からのホット情報

保健所	医療機関	情報
安芸	田野病院小児科	マイコプラズマ肺炎 1 例 (13 歳女) アデノウイルス扁桃炎 1 例 (1 歳女)
中央東	おひさまこどもクリニック	アデノウイルス咽頭炎 1 例 (1 歳女)
	早明浦病院小児科	アデノウイルス感染症 (咽頭結膜炎) 1 例 (3 歳女)
	いちほら内科小児科	カンピロバクター+O-16 1 例 (19 歳男)
	高知大学医学部附属病院小児科	ノロウイルス腸炎 1 例 (1 歳男)
高知市	けら小児科・アレルギー科	病原性大腸菌 O-6 腸炎 1 例 (4 歳男) カンピロバクター腸炎 2 例 (7 歳男 2 人) アデノウイルス咽頭炎 4 例 (5 歳男、0、1、13 歳女) マイコプラズマ肺炎 1 例 (16 歳男)
	高知医療センター小児科	RS ウイルス感染症 10 例 (2ヶ月2人、3ヶ月、1歳、2歳2人、3歳男、10ヶ月2人、2歳女) アデノウイルス 1 例 (5 歳男) ノロウイルス 1 例 (9 歳男)
	細木病院小児科	ノロウイルス 2 例 (10ヶ月男、2歳女)
	ふないキッズクリニック	帯状疱疹 1 例 (10 歳男)
中央西	くぼたこどもクリニック	溶連菌感染症 1 例 (7 歳女：高知市)
	日高クリニック	アデノウイルス、RS ウイルス混合感染 1 例 (1 歳男)
須崎	もりはた小児科	アデノウイルス扁桃炎 1 例 (3 歳男) 百日咳 1 例 (5 歳男：Lamp 法陽性、DPT 未接種) 48 週カンピロバクター腸炎 2 例
幡多	さたけ小児科	インフルエンザウイルス A 型 2 例

★全国情報

第47週 (11/17～11/23)

- 1類感染症：報告なし
 - 2類感染症：結核298例
 - 3類感染症：細菌性赤痢3例、腸管出血性大腸菌感染症41例
 - 4類感染症：A型肝炎1例、つつが虫病21例、日本紅斑熱4例、マラリア1例、レジオネラ症14例
 - 5類感染症：アメーバ赤痢19例、ウイルス性肝炎2例、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症10例
急性脳炎2例、クロイツフェルト・ヤコブ病1例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症7例
後天性免疫不全症候群22例、侵襲性インフルエンザ菌感染症1例、梅毒17例
侵襲性髄膜炎菌感染症1例、侵襲性肺炎球菌感染症22例、水痘 (入院例に限る) 3例
風しん2例、麻しん2例
- 報告遅れ：E型肝炎1例、エキノコックス症1例、デング熱1例、日本紅斑熱2例、ライム病1例
レプトスピラ症1例、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症8例
劇症型溶血性レンサ球菌感染症1例、水痘 (入院例に限る) 2例、
バンコマイシン耐性腸球菌感染症2例、薬剤耐性アシネトバクター感染症1例

★梅毒 2014年における報告数増加と疫学的特徴

梅毒は *Treponema pallidum* という細菌による感染症である。感染すると約3週間の潜伏期を経て無痛性潰瘍 (硬性下疳) や初期硬結等の局所病変を引き起こす (早期顕症 I 期)。その後一旦病変が消褪するが、3～12 週間後にはバラ疹、扁平コンジローマ、全身のリンパ節腫脹等の全身症状が起こる (早期顕症 II 期)。この時期の皮疹は多岐にわたり、かつては全ての皮疹は診断が下されるまでは梅毒と考えるべきとも言われていた。その後数年間の無症状の時期を経て、大動脈瘤や多彩な神経症状を引き起こすことがある (晩期顕症)。病原体である *Treponema pallidum* は試験管内で培養不能のため、診断は主に梅毒血清反応で行われる。*Treponema pallidum* のタンパク抗原に対する特異的な抗体は IgG が中心であり、感染後比較的早期に上昇し、基本的に一生涯高値を保つ (TPHA、FTA-ABS など)。一方カルジオリピンといわれるリン脂質を抗原とする非特異的な抗体は IgM が中心であり、梅毒の病勢を示しており、活動性のある梅毒で高値となる (RPR カードテスト、凝集法など)。上記で示した経過中における無症状期、あるいは梅毒病変が特定出来ない場合でも、特異的 Tp 抗体が陽性かつカルジオリピン抗体が 16 倍以上の時に診断が下される (無症候)。近年多くの医療機関で使用されている自動化法は 16.0 IU/ml (U/ML) が従来の抗カルジオリピン抗体 16 倍に相当するとされている。

2001年から2014年 (2014年は10月1日現在) の年別報告数と病型別報告数の推移は、2013年には前年比1.4 倍となる1,200例超の報告を認め、増加傾向は2014年も続いており、2014年10月1日時点の報告数は1,275例 (1.0/人口10万人) と昨年を超えた。早期顕症に加えて無症候の梅毒も増加している。性別を見ると、2014年10月1日時点で男性1,010例 (昨年同時期の1.3倍)、女性265例 (同1.5倍) であった。女性での増加は、梅毒が女性で増加していない米国とは対照的である。また、男性異性間性的接触による感染の報告数も2014年

10月1日時点で331例（昨年同時期の1.4倍）と増加傾向にある。患者の約8割を占める男性では、男性と性交する男性（Men who have sex with men：MSM）が45%（451/1,010）を占めており、昨年よりやや鈍っているものの増加を認めている。これは、同じくMSMが患者の大半を占めるHIV感染症では明らかな報告数の増加を認めていない点と対照的である。更に母子伝播による先天梅毒報告の増加にも注意が必要である。

近年の梅毒報告数の増加には、これまで報告されていなかった梅毒症例が報告されるようになったことも影響した可能性があるが、今後の動向に注意しながら、特にリスクが高い集団に対する啓発活動が重要である。

高知県感染症情報(58定点医療機関)

		第49週 平成26年12月1日(月)～平成26年12月7日(日)								高知県衛生研究所			
定点名	疾病名	保健所	安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	計	前週	全国(48週)	高知県(49週末累計) H25/12/30～H26/12/7	全国(48週末累計) H25/12/30～H26/11/30
ｲﾝﾌﾙｴﾝزا	ｲﾝﾌﾙｴﾝزا				5	1	1	5	12 (0.25)	5 (0.10)	9,396 (1.90)	10,828 (225.58)	1,482,588 (301.46)
小児科	咽頭結核熱		1	3				1	5 (0.17)	2 (0.07)	1,685 (0.53)	314 (10.47)	71,130 (22.63)
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		5	28	3	4	7	7	47 (1.57)	46 (1.53)	7,554 (2.40)	978 (32.60)	269,509 (85.75)
	感染性胃腸炎	5	49	29	8	11	5	5	107 (3.57)	102 (3.40)	24,147 (7.66)	8,443 (281.43)	871,376 (277.24)
	水痘	4	3	9	5				21 (0.70)	42 (1.40)	3,680 (1.17)	1,388 (46.27)	142,376 (45.30)
	手足口病		20	58	1	2	2	2	83 (2.77)	56 (1.87)	2,053 (0.65)	551 (18.37)	74,824 (23.81)
	伝染性紅斑							1	1 (0.03)	()	886 (0.28)	41 (1.37)	27,852 (8.86)
	突発性発疹	2	1	9	3	1			16 (0.53)	8 (0.27)	1,565 (0.50)	669 (22.30)	82,252 (26.17)
	百日咳						1		1 (0.03)	1 (0.03)	26 (0.01)	14 (0.47)	1,932 (0.61)
	ヘルパンギーナ			1	3				4 (0.13)	2 (0.07)	245 (0.08)	915 (30.50)	136,210 (43.34)
	流行性耳下腺炎	4		5				1	10 (0.33)	13 (0.43)	959 (0.30)	1,555 (51.83)	42,346 (13.47)
RSウイルス感染症	1	7	36	7	2	7	7	60 (2.00)	61 (2.03)	5,495 (1.74)	833 (27.77)	71,524 (22.76)	
眼科	急性出血性結核炎								()	()	5 (0.01)	()	381 (0.56)
	流行性角結核炎								()	()	386 (0.57)	28 (9.33)	18,672 (27.34)
基幹	細菌性髄膜炎								()	()	12 (0.03)	9 (1.13)	366 (0.77)
	無菌性髄膜炎								()	()	6 (0.01)	18 (2.25)	842 (1.78)
	マイコプラズマ肺炎		1	3					4 (0.50)	8 (1.00)	158 (0.33)	217 (27.13)	5,819 (12.28)
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)								()	()	3 (0.01)	21 (2.63)	296 (0.62)
	感染性胃腸炎								()	()	16 (0.03)	138 (17.25)	3,895 (8.22)
計 (小児科定点当たり人数)	16 (8.00)	87 (12.28)	186 (16.49)	31 (10.20)	22 (10.75)	29 (5.43)		371 (12.08)			58,277	26,960 (748.96)	3,304,190
前週 (小児科定点当たり人数)	11 (5.50)	63 (8.57)	169 (14.79)	20 (6.66)	36 (18.00)	47 (9.33)			346 (11.20)				

注 ()は定点当たり人数。

高知県感染症情報(58定点医療機関) 定点当たり人数

		第49週								高知県衛生研究所			
定点名	疾病名	保健所	安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	計	前週	全国(48週)	高知県(49週末累計) H25/12/30～H26/12/7	全国(48週末累計) H25/12/30～H26/11/30
ｲﾝﾌﾙｴﾝزا	ｲﾝﾌﾙｴﾝزا				0.31	0.20	0.25	0.63	0.25	0.10	1.90	225.58	301.46
小児科	咽頭結核熱		0.14	0.27				0.20	0.17	0.07	0.53	10.47	22.63
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.71	2.55	1.00	2.00	1.40	1.40	1.57	1.53	2.40	32.60	85.75
	感染性胃腸炎	2.50	7.00	2.64	2.67	5.50	1.00	1.00	3.57	3.40	7.66	281.43	277.24
	水痘	2.00	0.43	0.82	1.67				0.70	1.40	1.17	46.27	45.30
	手足口病		2.86	5.27	0.33	1.00	0.40	0.40	2.77	1.87	0.65	18.37	23.81
	伝染性紅斑							0.20	0.03		0.28	1.37	8.86
	突発性発疹	1.00	0.14	0.82	1.00	0.50			0.53	0.27	0.50	22.30	26.17
	百日咳						0.50		0.03	0.03	0.01	0.47	0.61
	ヘルパンギーナ			0.09	1.00				0.13	0.07	0.08	30.50	43.34
	流行性耳下腺炎	2.00		0.45				0.20	0.33	0.43	0.30	51.83	13.47
RSウイルス感染症	0.50	1.00	3.27	2.33	1.00	1.40	1.40	2.00	2.03	1.74	27.77	22.76	
眼科	急性出血性結核炎										0.01		0.56
	流行性角結核炎										0.57	9.33	27.34
基幹	細菌性髄膜炎										0.03	1.13	0.77
	無菌性髄膜炎										0.01	2.25	1.78
	マイコプラズマ肺炎		1.00	0.60					0.50	1.00	0.33	27.13	12.28
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)										0.01	2.63	0.62
	感染性胃腸炎										0.03	17.25	8.22
計 (小児科定点当たり人数)	8.00	12.28	16.49	10.20	10.75	5.43		12.08			748.96		
前週 (小児科定点当たり人数)	5.50	8.57	14.79	6.66	18.00	9.33			11.20				

発行：高知県感染症情報センター（高知県衛生研究所）
〒780-0850 高知市丸ノ内2-4-1（保健衛生総合庁舎2階）
TEL：088-821-4961 FAX：088-825-2869